

## 地域おこし協力隊活動報告書

活動団体	NPO 法人 穎娃おこそ会
役職	
氏名	福島 花咲里 (かざり)
着任日	令和 2 年 2 月 1 日

活動月	令和 2 年 10 月 (着任 9 ヶ月)
主な活動	<b>1. 全国の学生とお茶について考える。TEA LABO 取材。</b>

### 1. 全国の学生とお茶について考える。TEA LABO 取材。

10 月 17・18 日に、TEA LABO のオンラインワークショップが開催されました。TEA LABO とは、「鹿児島県南九州市で始まる、学生がお茶産業に関わるプロジェクト」のことです。



学生はプロジェクトに参加しながら、4 か月間にわたって自分なりのお茶の飲み方を考え実践し、最終的にお茶に関わる学生の本音と、お茶農家さんの想いを冊子にまとめていきます。

その最初のステップとして、8 月にインターネットや SNS を使って全国の高校生や大学生に呼びかけ、100 名の参加者を募集。応募があった学生には南九州市からお茶とお茶菓子を届け、暮らしの中でお茶を楽しんでもらいました。

## 地域おこし協力隊活動報告書

# 3

高校生～大学生まで  
全国の学生が対象！

こんな学生におすすめです

- 新しいことに挑戦したい！
- 日本中の学生と出会いたい！
- 一次産業に興味がある！
- SNSでの発信が好き！

プロジェクト期間 2020年9月～2021年1月

メンバーの応募締切は9月23日(金)です。

# 4

## SCHEDULE



そして、ステップ 2 にあたる 10 月のワークショップでは、全国の学生と南九州市のお茶の生産者さん、JA の方をオンラインで繋ぎ、意見交換会を開催。学生の中には普段からお茶を楽しんでいる人が多かったようで、さまざまな質問がチャットを通じて送られてきました。

オンラインでの開催ということで事務局もそれぞれの拠点から参加。その中でわたしは、石垣にある空き家再生物件ふたつや、から参加しました。ゲストハウスからは JA の方、シェアハウスからはお茶の生産者さんが、それぞれ事務局メンバーのサポートを伴って参加しました。



お茶の消費量が減っているという現実はあるものの、お茶を中心に全国と繋がった 10 月を思い出すと、アイデア次第でお茶の可能性はまだまだ広がっていくような気がしました。

▼詳細はこちらから↓

TEA LABO の note | [https://note.com/tealabo\\_pj](https://note.com/tealabo_pj)